

項 目		新しい数学(東書・2)
教育基本法、 学校教育法の下、 中学校学習指導要領の 教科の目標との 関わり		<p>○題材が段階的に示されており、学習内容が定着するように工夫されている。また、具体的な事象と結びつけて考察することで、基礎的・基本的な技能を習得するよう構成されている。</p> <p>○題材が身近な事象に関連して、数量や図象などを数理的に考察するような題材が取り上げられ、思考力、表現力、判断力などの育成が図られている。</p> <p>○各章の導入課題では、捜査活動を取り入れ、その活動が本文へとつながるように構成されている。その導入から解決までの流れの中で、数学的な活動の良さや楽しさを実感できるようにしている。</p>
特 色	内 容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <p>○「例」→例にならって解く「たしかめ」→「問」とスモールステップな構成になっている。また、「ちょっと確認」(1年p74)や「まちがい例」(1年p91)、「ノート例」(p89)で事前にミス回避できるヒントが示されている。また、随所に算数への振り返りやちょっと確認、補充の問題など個々の技能に合わせて学習ができ、基礎的・基本的な内容の学習が進められるようになっている。</p> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <p>○「数学マイノート」(2年p30など)、「レポートにまとめよう」(2年p89など)では、模範的なノート例やレポート例が示されており、思考力や表現力などの育成が図られるよう構成されている。また、多様に考えたり、友達の考えを読み取る場面では「生徒キャラクター」を利用して、解決の糸口を示すように工夫されている。(各学年随所)</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <p>○側注に学習内容を補足するような内容が示され、自主学習がしやすく、復習にも活用しやすくなっている。巻末の「補充の問題」では、問とリンクしており、繰り返し練習で問に戻ったり、難易度の高い問題を解いたり個に応じた取り組みをする。「学びのページ」では、多様な考えが出しやすい問題で、自ら進んで考え仲間と練り上げられる課題が用意されている。</p> <p><b>〈数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫〉</b></p> <p>○章の導入として部活動や遊園地など身近によくある物事を扱い、予想を立てて考察できる構成になっている。また、ほとんどの章に「利用」の節があり、身近な課題に数学を活用し解決に向けて考え、判断し表現できるようになっている。巻末には「学びをいかす」など、生活の中から数学的な課題を見つけ、数学を利用して身のまわりの問題を解決する活用の問題がある。</p>
	資 料	<p>○課題に対して具体的な場面や日常生活との関連に気付くようなイラストや写真が用いられている。また、巻末付録では、切り取って操作活動するための資料がついている。</p> <p>○統計資料などは、色調の工夫などがあり、また、複数の表の場合には、相互に比較できるように配置されている。</p>
	表 記・ 表 現	<p>○「例」と「問」のあいだに「たしかめ」があり、公式や定理は緑の枠で囲まれている。また、例題の解答は途中の式も丁寧にまとめられている。</p> <p>○新しい用語・記号は太字で示されている。</p>
総 括		<p>○章の導入での「疑問」や「生徒キャラクター」のやりとりなどで、内容を補助するとともに、数学的な活動を促すように示されている。</p> <p>○本文では、思考を補助する課題や吹き出しが示され、巻末にある「問題編」「課題編」では、習得・習熟の段階に応じた指導ができるように構成されている。</p> <p>○全体的に淡い色を使用しており、目に優しい色使いである。</p>

項 目		数学の世界(大日本・4)
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○章の扉には簡潔に章の学習内容が示されており、数学的な活動が取り入れられ、楽しみながら学習するように工夫されている。</li> <li>○各章では、既習事項との関連を踏まえた課題が設けられてある。さらに、利用に関連した節が設けられており、課題の中で、既習事項を活用する力の育成が図られるように構成されている。</li> <li>○側注を利用して、これまでの学びを振り返るとともに、繰り返し練習する場面を設け、基礎的・基本的な知識や技能を習得するような構成で、学習に進んで取り組めるようになっている。</li> </ul>
特 色	内 容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各節は、学習する内容が見開き2ページでまとめられており、学習が進められやすい。また、課題→ねらい→課題解決→練習問題という流れになっているとともに、側柱に理解度に応じた問題「プラスワン」(各学年とも随所)があり、学習がステップアップできるようになっている。節末の「練習」には本文中の参照ページがあり振り返りがしやすい。各小単元のタイトルの下に学習のねらいが記載されており、生徒が学習の見通しが立てられるようになっている。(各小単元始め)</li> </ul> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「数学の世界へようこそ」として学習の進め方のページを設け、数学的活動のステップを示すことで学習の流れがわかる。(各学年p7) 学習の中で、式や表、グラフなどを利用して調べる、説明する場面がある。学び合いの中で、仲間に考えを伝える、聞く活動においても、図や式などを使って説明でき、表現力を養う場面が設定されている。(1年p151など) ハートマークの問題や章の問題にあるりんごの課題などが、数学的な言語力を高めるための課題がある。</li> </ul> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年とも巻頭の「はじめに」で、数学を学習すること、考える力や伝え合う力の重要性が示されている。各章に「利用」の節が設けられ、学習内容を具体的な場面で使えるように工夫されている。巻末には、小学校のまとめ、当該学年のまとめの問題など、主体的に学べるよう工夫されている。教科書の使い方(各学年p6)があり、自分で取り組むページもある。</li> </ul> <p><b>〈数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「プラス・ワン」、「いろいろな問題」、「まとめの問題」があり、教科書を活用して主体的に学習に取り組めるようになっている。巻末の「Mathful」では、各章ごとに身のまわりにひそむ数学について示し、数学の楽しさ等を味わわせるよう工夫されている。各章の「いろいろな問題」やその他「挑戦しよう」により、学んだことを活かした学習ができるようになっている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活で用いられ、学習内容に関連する具体的な場面や操作などに気づかせるような挿絵や写真などが用いられている。また、巻末には、切り取って操作活動をするための資料が用意されている。</li> <li>○統計資料には、写真やイラストがついており、コンピュータを使って資料の整理の仕方を学ぶページがある。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの学習ポイントがオレンジの枠で囲まれている。</li> <li>○1学年に比べ2、3学年で文字のポイントが小さくなっている。また、新しい用語・記号は太字で示されている。</li> </ul>
総 括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開き構成で、数学的活動を通して学べる学習活動形式でわかりやすい。</li> <li>○書き込みの課題が随所で用意されおり、一人一人が主体的に学べるようになっている。練習問題数も多く、繰り返し学習しやすく、自主学習がしやすく構成されている。</li> <li>○保護者へ向けて、家庭を巻き込んで数学の重要性や学習の大切さを呼びかけている。</li> </ul>

項 目		中学校数学(学図・11)
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識や技能の定着が図れるように工夫された課題、観察や操作、実験などの操作活動を取り入れた課題が設定されている。</li> <li>○日常の事象をもとにした題材や話題、社会とつながりのある事象などが多く取り上げられ、また、根拠となる理由を説明する課題など、思考力や表現力などの育成が図られるようになっている。</li> <li>○2色のカラーで各章が示されており、章の最終ページに数学的活動の課題ではカラーの帯で囲まれており、わかりやすい。数学的な考え方、レポートの作成、発表のしかたが身につくようにしてある。</li> </ul>
特 色	内 容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○解法例では解答だけでなく、概念や原理などが理解できるように、重要な考え方が明記されている。(1年p104など) また、数、量、図形の章の扉や本文中に「ふりかえり」があり、復習や学び直しができるような構成である。各節末の「確かめよう」が設けられてあり、本文中の参照ページが示され、振り返りができる。また、章末の「まとめの問題」では基礎的・基本的な力をつけられるよう工夫してある。</li> </ul> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本文中、生徒のキャラクターのコメントという形で思考力等が高められるように工夫されている。「考えよう」「見つけよう」などでは、思考力、表現力等の育成が図られるようになっている。数学的な考え方(類推的、帰納的、演繹的)がどのような考え方なのかを各学年巻頭で示し、本文中にどの考え方であるのか注釈してある。(全学年p8, 1年p26など)</li> </ul> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○章の扉では、観察や操作等の活動があり主体的に学習できるような構成である。本文中の「問」の側注の「やってみよう」と「計算力を高めよう」がリンクされている。さらに「おしえて!」の中で生徒が主体的に考え、「クローズアップ」で解決するようになっている。また、既習事項をもとに、数や図形の新しい性質を見付け出す場面を設定してある。</li> </ul> <p><b>〈数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「章のまとめ問題」では、基本・応用・活用と分けてある。また、最後に「深めよう」のページがあり、主体的に学習に取り組み、数学を活用して考えたり、判断する力が養える。また、「自由研究のページ」があり、日常生活に関連した課題により、日常生活における数学の役割に気づき、学んだ内容を活用し、深める学習ができるよう構成されている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実際の建物や実物の写真、地図や絵などが多く使われ、興味・関心を持ち学習に取り組めるようになっている。</li> <li>○巻末に操作用の付録がついており、体験活動を通して実感を伴った学習ができるように工夫されている。随所に将来の職業に関連した問題が織り込まれている。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文中を含め、ひかえめな色づかいで重要な箇所等も見やすくなっている。本文では書き出しなど縦の列がそろっており大変みやすい。</li> <li>○キャラクターが様々な場面で適切な助言をし、学習が進めやすい。</li> </ul>
総 括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文中、巻末に多くの数学的な話題(身の回りの事象や社会との関連、数学に関する歴史的な話題など)が扱われている。</li> <li>○数学的な活動や数学的な討論がしやすく工夫されている。また、書き込ませる、作図をしながら性質を考えるなど、生徒が自ら考えるようになっている。</li> <li>○多様な考え方の重視、条件がえなど数学的な発展に配慮された内容となっている。</li> </ul>

項 目		中学数学(教出・17)
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり		<p>○たしかめや問題など段階的に学習を進めていきながら、基礎・基本を定着できるように構成されている。また、既習事項の確認や基礎的・基本的な内容を確認する「復習のページ」や「学習のまとめ」が設定されている。</p> <p>○章の導入や章末などで身近な事象に関する題材を取り入れ、根拠となる理由を説明するようにして、思考力や表現力などの育成を図るような題材が扱われている。</p> <p>○観察、操作や実験などが取り入れられ、数学的な見方や考え方のよさに気づくように構成されている。また、学習内容のまとめごと、それらを利用した学習に取り組むような課題が設定されている。</p>
特 色	内 容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <p>○単元のはじめに学習のねらいが示されている。また、例題のあとに「たしかめ」があり、既習事項の振り返り(もどって確認)があり、基礎的・基本的内容が確認できる。(1年p114など) また、節末の「基本のたしかめ」、巻末の「たしかめの補充問題」で振り返り学習ができるように工夫されている。更に章末には「学習のまとめ」も配置され、学んだ内容の確認ができるようになっている。</p> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <p>○複数の考えを引き出せる課題が示してあり、互いによりよい解決方法を言い合う、論理的に説明できる課題がある。(1年p82など) また、新しい学習の際は、「Q」や「みんなで数学」で表現力などを養おうとしている。本文中の側注のキャラクターや「噴き出し」による解法ヒントがあり、間違いやすい箇所では間違いを説明させるなど工夫されている。</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <p>○生徒が課題に取り組みながら、数や図形の性質を見出したり、日常生活や社会で数学を利用したり、筋道を立てて説明し合える活動がある。(1年p181など) また、章の導入では章で学ぶ内容が簡潔に書かれてあり、「Let's Try」は具体例をもとにした導入である。生徒キャラクターによるヒントで進んで学習でき、巻末に「実力アップ問題」も設けてある。</p> <p><b>〈数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫〉</b></p> <p>○「みんなで数学」や「数学の広場」が単元ごとにあり、巻末には「チャレンジコーナー」や「ジャンプ」では、学習の系統性を踏まえ、その学年以降に学習する内容が取り上げられ、数学の楽しさを味わったり、活用力を高められるようになっている。(1年p160など) また、他教科と数学との関連が示してあり、意識をしながら活用できる。(1年p11など)</p>
	資 料	<p>○本文はさし絵や、イラストが用いられ、具体的な場面を想起させる場合や日常生活との関連を示す際には写真が用いられている。巻末の付録には切り取って立体を作成する資料が用意されている。</p> <p>○図、表、グラフなどの資料は書き込みができるように工夫されている。また、統計資料は、表の項目には配色され見やすくなっている。</p>
	表記・表現	<p>○単元のはじめに目標が示されていて、習得すべき内容が明記されている。</p> <p>○数学用語を説明している箇所は黄色で、重要事項や性質、定理は緑色で囲まれている。また語句や記号、公式については太字で示されている。</p>
総 括		<p>○練習問題を精選し、発展は章末に、深化・補充は巻末資料として分けられ、個に応じて学習を進めることができる。巻頭に「学習を進めるにあたって」があり、意識してほしいこと、数学の授業で心がけること、ノートの取り方の一例が紹介されている。</p> <p>○小・中学校の学習のつながりが円滑になるように「小学算数のまとめ」が巻末にある。</p> <p>○索引などで数式や数学用語の英訳があり、文字で表すことのよさや理由を学べる。</p>

項 目		未来へひろがる数学(啓林館・61)
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○多種多様な題材が取り上げられ幅広い知識と教養を身につけられるよう構成されている。生徒が主体的に真理を求める態度が養えるようなコーナーを設けてある。</li> <li>○数学的な概念・原理・法則を、具体的な例を通してわかるように工夫しており、「～の意味(意義、必要性)を理解すること」も充実し、その上で身につけるように構成されている。</li> <li>○身につけた数学的な知識を総合的に活用する場面を設け、活用しようとする態度の育成をはかる箇所がある。</li> </ul>
特 色	内 容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の確実な定着をはかるため、スモールステップな展開、解説になっている。操作的活動も多く取りあげ、展開が工夫されている。各章末の「基本のたしかめ」には、本文中の参照ページがあり、本文中や章末の問題、巻末の「力をつけよう」など基礎的・基本的な力がつけられる構成である。また、新しい学習に入るときに、「ふりかえり」で関連する既習内容があり、振り返りながら学習が進められる。</li> </ul> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「章末問題」の最後にじっくり考えて解決する「千思万考」の問題があり、思考力が育める。(1年p79など) また、問題解決や問題設定に必要な思考、判断のきっかけとして、数学的な見方・考え方に「同じように考える」「逆向きにみる」「すでに学んだ形にする」などのキーワードがあり自らそのような考え方ができるようになっている。(1年p33など)</li> </ul> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○節ごとに「学習のとびら」があり、日常生活の事象と関連付けられており、興味・関心を持って学習できるように設定されている。(1年p104, 105, 2年p25, 3年p106など) また、「Math Nav iブック」では、その章の事前・事後に学習ができるような構成で、主体的な学習を促している。</li> </ul> <p><b>〈数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活や社会との関連を重視し、生活の中から数学的な課題を見つけたり、数学を利用して身のまわりの問題を解決したりできる「身のまわりへひろげよう」(1年p.130-131, 2年p.143, 3年p.148-149など)がある。また、巻末にある「数学広場」で興味・関心に応じて取り組める課題が用意されている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学が使われている場面で、学習内容と関連させて図や写真が用いられている。また、説明を補うための図や表を効果的に使い、学習の理解を補助している。</li> <li>○本編(必修学習内容)と別冊(深化・補充・発展)に分け、互いにリンクして学習が進められるようになっている。</li> </ul>
	表 記・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章表現は、簡潔明瞭で読みやすい。用語・記号は、ことがらや関係などが明確・簡潔に表わされている。</li> <li>○色使いもしつこくなく落ち着いた色調である。</li> </ul>
総 括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容の系統性・関連性を重視し、素材や課題が以前、現在、今後の学習内容のつながりを踏まえて設定されている。</li> <li>○小学校や高校との関連性も側注に示されている。</li> <li>○本編における練習課題を精選し、深化・補充・発展は、巻末や別冊の資料があり、授業で扱う内容、家庭学習で扱えばよい内容と分けてある。</li> </ul>

項 目		中学校数学(数研・104)
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な知識や技能の定着を図るようふんだんに問題が用意され、その問題に関連する既習事項が示されており、振り返りや繰り返し学習を通して、基礎的・基本的な知識や技能が定着するように構成されている。</li> <li>○日常生活に関連した題材が取り上げられ、表や図を用いる学習活動などにより、思考力や表現力などの育成が図られるように構成されている。</li> <li>○各章の導入で興味・関心を高められるよう課題が取り入れられており、進んで取り組むように構成されている。また各章の中に説明文や問いなどで数学的活動を促す場面が設定されている。</li> </ul>
特 色	内 容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭の「出発前のクイックチャージ」で、該当学年までに学習した基本事項がまとめて示されている。本文中の「問」、節末の「確かめよう」、章末の「基本の問題」などで繰り返し学習ができるように構成されている。また、各小単元のタイトルの下に「ここで学ぶこと」が記載されており、生徒が学習の見通しが立てるようになっている。(各小単元始め) また、数式で表現する、数式を読み取ったりする、数学的に表現する場面が多くある。(1年p78など)</li> </ul> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「Q」「伝えよう」「見つけよう」「活用しよう」など、数学的活動を促す場面が多くある。巻末の「数学探検」では、身の回りにひそむ数学の歴史的な話題も取り上げ、数学の楽しさや奥深さを感じながら、思考力等が育成できる。章の問題A、Bでは標準的な問題を、巻末チャレンジの編の「深めよう!」で応用力などを高める、「考えよう」では興味を深める問題がある。</li> </ul> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入では、具体例による説明と既習事項との関連が示され、例題では模範解答や例の表題で主体的な活動を促している。既習事項を利用して考える、身近な事象から数学を見出す話題が多く、興味・関心を高められる。章のとびらでは学習内容が簡潔で具体例をもとにした導入である。生徒キャラクターや他のキャラクターによるコメントが有効である。</li> </ul> <p><b>〈数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年とも学習事項に関連した話題を扱った「数学探検」では、数学の有用性を実感できるようになっており、数学を活用して解こうと思うような構成になっている。(1年p225など) また、巻末にある「知識を活用しよう」では、該当学年の内容を総合的に使って取り組める課題になっている。(1年p267など)</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文はさし絵や、イラストが用いられ、具体的な場面を想起させる場合や日常生活との関連を示す際には写真が用いられている。巻末付録には切り取って図形を作成する資料が用意されている。</li> <li>○図、表、グラフなどの資料はできるだけ大きくしてあり、書き込みがしやすいよう工夫されている。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の最初に目標が示されていて、習得すべき内容が明記されている。また、各項目はページの最初から始まっている。</li> <li>○重要事項や性質、定理は黄色や赤色で囲まれている。語句や記号、公式は太字である。</li> </ul>
総 括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題量が多く、基礎・基本の定着に重点を置きつつも、応用、発展問題も多く採用され、生徒が主体的に学習に取り組めるようになっている。</li> <li>○ノートをとる際の注意点のページがあり、本文中にも注意したいことがらにNOTEマークがあり、学習しやすい。</li> <li>○活字は大きく見やすく、カラーユニバーサルデザインを採用してある。</li> </ul>

項 目		中学数学(日文・116)
教育基本法、 学校教育法の下、 中学校学習指導要領の 教科の目標との 関わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的な知識や技能や数学的な見方や考え方を確実に習得し、数学的な真理を求める態度を養い、広い知識と教養が身につくような構成されている。</li> <li>○ 個に応じ学力を伸ばし、生活や社会の関わりを知り、数学を利用しようとする態度を身につける構成になっている。</li> <li>○ 協同して取り組む活動の場面で、自分の考えを伝える、他者の考えを認める、他者を敬う態度を身につけられるようになっている。</li> </ul>
特 色	内 容	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の扉には、これから学ぶきっかけがあり書き込みができるようになっている。見開き2ページ1時間として学習内容がまとめられており、学習のねらいが★印で示されている。節末の「基本の問題」など、本文の参照ページが示されており、振り返り学習ができる。学習の中で生徒が間違いやすい箇所、つまづきやすい箇所の説明が丁寧で、新しい用語の使い方の具体例がある。(1年p98、2年p100、3年p26など)</li> </ul> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考える・調べる・予想する・説明する」と話し合っ解決する「話し合おう」のページが設けてある。(1年p185など) 結果だけでなく、思考の過程を表現したり、友達の発言も考察できるようなノートの取り方のアドバイスのページがある。(全学年ともp8) 説明の仕方の具体例がノートの形で示されている。(1年p225、2年p180、3年p119)</li> </ul> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数量の章に「利用」の節が設けてあり、学習内容を具体的な場面で活かせる。本文中の側注の「チャレンジ」問題で、進んで学べるよう工夫されている。各章の「○○を学ぶ前に」や巻末などで、予習・復習の習慣づけが図られるようになっている。数学的な活動を楽しんだり、数学を学習する意義や必要性、有用性が実感できるような構成である。</li> </ul> <p><b>〈数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の「数学研究室」で数学的な見方や考え方を広げる問題や「力をのばそう」のB問題で活用する力をつける問題が示されており、数学的な力をのばそうと工夫されている。(各学年巻末) 数学にまつわる話、教科を越えて取り組める課題などが「数学研究室」の中で具体的に示してある。(各学年巻末)</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学を他教科や総合的な学習と関連づけた内容が意図的に取り入れられている。</li> <li>○ 各章の扉では操作活動や予想を立て学び合うことを通して、良さや楽しさが実感でき、興味・関心を持って取り組める構成になっている。基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るよう問題が用意されている。</li> </ul>
	表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 説明の文章が簡単でわかりやすい表現になっている。また、図や式を併記してあり、理解しやすい。</li> <li>○ 色使いもしつこくなく全体的に落ち着いた色調である。</li> </ul>
総 括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な学習内容をより深く理解し定着できるように工夫されており、数学的活動ができるよう多くの素材を使っている。</li> <li>○ 生徒の主体性を引き出す、学習内容を活用する、思考力や表現力などをつけるように工夫しながら、個に応じた学習に取り組めるようになっている。</li> </ul>